

支部 Newsletter

北海道支部

◎ 第 57 回大会の開催（報告）

2012 年 9 月 29 日（土）、30 日（日）の両日 北海学園大学において、第 57 回日本英文学会 北海道支部大会が開催されました。西光義弘氏（神戸大学名誉教授）による特別講演「日本人英語学習の間違いを訂正する効果的方法」、滝口智子氏（和歌山大学）による招聘発表「女性と死をめぐって——19 世紀イギリス女性詩人と作品」、山田義裕氏による招聘発表「『心の理論』の視点研究への応用」、大野公裕氏（北海道大学）による招聘発表「変項束縛における介在効果について」、文学部門シンポジウム「今、英文学をどう教えるか」（司会・講師：藤田佳也（酪農学園大学）、講師：松崎慎也（群馬県立女子大学）、岩田美喜（東北大学））、語学部門シンポジウム「新しい言語教育の可能性——認知言語学の視点から」（司会・講師：濱田英人（札幌大学）、中村芳久（金沢大学）、對馬康博（札幌大学））の他 9 つの研究発表がありました。

東北支部

◎ 2013 年度支部役員

東北支部では、2012 年 9 月に実施された支部役員選挙を受け、また 11 月 17 日に開催された支部理事会を経て、次年度以降の役員が以下のように決定いたしました（以下敬称略）。支部長：箭川修（東北学院大学）、副支部長：佐々木和貴（秋田大学）、理事（所属略・五十音順）：飯田清志、石橋敬太郎、岩田美喜、宇津まり子、遠藤健一、大河内昌、大西洋一、奥野浩子、金子義明、川田潤、鈴木亨、鈴木雅之、村上東。

なお、次年度の事務局長には福士航氏（東北学院大学）が就任することに決定いたしました。これに伴って 2013 年 4 月より東北支部事務局の住所も「〒980-8511 仙台市青葉区土樋 1-3-1 東北学院大学 英語英文学研究所内」へ変更となります。お間違いのないよう、どうぞよろしく願います。

◎ 第 67 回支部大会開催報告

第 67 回東北支部大会が、2012 年 11 月 17 日（土）・18 日（日）の両日に岩手県立大学において開催されました。詳細は、東北支部ホームページ（<http://www.elsj.org/tohoku/>）からご覧いただけます。

◎ 東北支部研究振興事業の次回締切

東北支部の研究振興事業（支部大会のシンポジウムを元にした出版への助成、特別講演の開催補助、若手研究者を対象としたトラベル・グラント）の次回応募締切は、2013 年 4 月 1 日です。応募希望者は、支部ホームページ（<http://www.elsj.org/tohoku/>）上にある応募用フォーマットをダウンロードのうえ、事務局（tohoku@elsj.org）宛にご応募ください。

◎ 『東北英文学研究』第 3 号発行および第 4 号原稿募集

『東北英文学研究』第 3 号が、『英文学研究支部統合号』第 5 巻に合本される形で発行されました。

また、現在『東北英文学研究』第 4 号の原稿を募集しています。締切は 2013 年 4 月 30 日です。支部ホームページ（<http://www.elsj.org/tohoku/>）にある投稿規程をご覧の上、事務局（tohoku@elsj.org）宛に、どうか奮ってご応募ください。

関東支部

◎ 理事会報告

ここでは、理事会で報告・審議されたことのなかで、とくに人事に関する点を中心にお伝えいたします。

2012 年 11 月 10 日（土）に中央大学駿河台記念館にて第 3 回理事会が行われ、次の事項が報告・審議されました。

議事録承認
（報告事項）

1. 支部長より（選挙結果について他）

10 月 4 日締切にて役員選挙が行われ、下記の通り 10 名が選出されました。

（投票数で上位 10 名の中から 3 名が辞退さ

れたので、以下繰り上げ)。

阿部公彦、新井潤美、アルヴィ宮本なほ子、遠藤不比人、斎藤兆史、田尻芳樹、巽孝之、丹治愛、中井亜佐子、原田範行(五十音順、敬称略)

2. 大会準備委員会報告

- (1) 2013年3月に任期が切れる委員の承認
- (2) 研究発表の査読について
- (3) シンポジウムの公募について
- (4) 任期交代の時期について
- (5) 2013年度大会予定について

3. 編集委員会報告

- (1) 投稿規定の改定について
- (2) 審査基準について
- (3) 2012年度投稿論文査読結果について
- (4) 後任人事の審議予定について
- (5) 支部号投稿論文のレベルについて
- (6) 次回、夏期大会における編集委員会企画のシンポジウムについて

4. その他

〈審議事項〉

1. 選挙結果について

上記のように報告された選挙結果について審議され、了承されました。

2. その他:「日本英文学会関東支部役員選挙規定」について

2012年11月17日(土)に日本女子大学にて2013-14年度暫定新理事会が行われ、次の事項が審議されました。

1. 新支部長、副支部長、本部理事として推薦する本部理事候補、評議員、監事の選出、指名。以下のように選出、指名されました。(敬称略)

支部長: 原田範行

副支部長: 遠藤不比人

本部理事候補: 原田範行、阿部公彦

評議員: 田村育敏

監事: 巽孝之

2. 話し合い理事(候補)の選出、指名

2013年度『関東英文学研究』編集委員長、奥田暁代氏のほか、後藤和彦、大津由起雄、末廣幹の各氏を候補とし、打診すること

が了承されました。

2013年1月13日(日)に日本女子大学にて第4回理事会が行われ、次の事項が報告、審議されました。

議事録承認

〈報告事項〉

1. 支部長報告

上記暫定理事会での決定について、また、暫定理事会後に打診した「話し合い理事」の各氏から快諾が得られたことが支部長から報告されました。

2. 事務局報告

2012年11月10日(土)に開催された関東支部第6回大会(2012年度秋季大会)について事務局から報告されました。

3. 委員長報告

(1) 編集委員会報告

- ・来年度への申し送り事項について
- ・委員の交代について

来年度より、以下の各氏が編集委員となることが報告されました(任期3年)。清水徹郎(お茶の水女子大学)、小田島恒志(早稲田大学)、川本玲子(一橋大学)、越智博美(一橋大学)、若林麻希子(青山大学)、宅間雅哉(東京未来大)(他1名未定。今年度中に決定予定)

また、来年度編集委員長が奥田暁代氏(慶應義塾大学)となることも改めて報告されました。

(2) 大会準備委員会報告

- ・次回の大会は6月22日(土)明治大学駿河台キャンパスで。開催担当委員は秦邦生氏(津田塾)
- ・次次回は11月2日(土)、開催校は未定。
- ・11月に選挙を行い、来年度準備委員長は石原剛氏(早稲田大学)となりました。
- ・そのほか、次の各氏が準備委員となることが報告されました。
近藤康裕(東洋大学)
(2015年11月末まで)
志渡岡理恵(実践女子大学)
(2015年11月末まで)
佐久間みかよ(和洋女子大学)

(2015年11月末まで)
北和文(東京理科大学)
(2014年11月末まで)
他、2名未定

4. その他

〈審議事項〉

1. 規則・規定の改正について

「日本英文学会関東支部役員選挙規定」の一部改正について審議し、了承されました。

2. 出版事業について

関東支部で今後行っていく出版事業について意見交換が行われ、基本方針についての了承を得て、継続審議となりました。

3. その他

◎『関東英文学研究』第6号について

『関東英文学研究』第6号の原稿を2013年5月31日締切で募集いたします。募集要項の詳細につきましては、日本英文学会関東支部のホームページをご覧ください。多数の応募をお待ちいたしております。

◎ 関東支部第7回大会(2013年度夏季大会)について

関東支部第7回大会が6月22日(土)明治大学駿河台校舎で開催されます。研究発表/ワークショップの応募締切は4月30日です。詳細については日本英文学会関東支部のホームページをご覧ください。

以上(文責:佐藤和哉)

中部支部

◎ 第64回中部支部大会開催

去る2012年10月27日(土)、28日(日)、南山大学・名古屋キャンパスにおいて第64回中部支部大会が開催されました。盛会のうち全プログラムを無事に終了することができました。関係者の皆さまのご尽力に感謝いたします。

27日(第1日)は開会式、総会に続いて、特別講演、研究発表、懇親会が行われました。特別講演は東北大学教授・野家啓一氏による

「『物語り』の力と『自己』の語り直し」でした。研究発表は英米文学・文化関係が11、英語学関係が4で、6室に分けて行われました。研究発表後には、南山大学職員食堂で懇親会が行われました。

28日(第2日)はシンポジウムと閉会式が行われました。今年は英米文学関係と英語学関係の二つのシンポジウムが開かれました。英米文学では「大学で読む児童文学/Reading Children's Literature at University」(司会:橋本恵氏)、英語学は「新学習指導要領時代の英語学教育」(司会:鈴木達也氏)でした。

◎ 支部大会の開催、および大会発表の募集について

第65回支部大会は2013年10月5日(土)、6日(日)に椋山女学園大学・星が丘キャンパスにおいて開催いたします。現在のところ第1日に開会式、講演会、研究発表、懇親会、第2日にシンポジウム、閉会式を予定しています。

大会発表の募集は、例年どおり5月末日の締め切りといたします。ふるってご応募ください。

◎『中部英文学』第33号投稿について

『中部英文学』第33号(支部統合号)への投稿論文を募集しています。投稿締め切りは2013年4月10日です。『英文学研究支部統合号第5巻』及びホームページに掲載されている投稿規定をご覧ください。

関西支部

◎ 関西支部第7回大会について

2012年12月22日(土)11:00より、関西支部第7回大会が京都大学吉田キャンパスにて開催され、4名の招待発表を含む22名による研究発表と、英米文学および英語学のシンポジウムが行われました。あいにくの天候にもかかわらず約200名の参加者があり、懇親会もほぼ100名の出席者を得て、盛会裡に終わりました。

大会準備にご尽力いただいた学会関係者の方々、および会場を提供くださった京都大学

関係者の皆様に心より感謝いたします。

◎ 役員会および総会について

大会当日に開催された理事・評議員合同役員会では支部長、大会準備委員長、機関誌編集委員長から事業報告があったほか、会計報告案が承認され、龍谷大学が第8回大会開催校に選出されました。また、総会では以上の件についての報告がなされました。

◎ 次期支部長について

支部会員全員の投票によって選ばれた次期理事の互選により、小澤博氏が次期関西支部支部長に選出されました。

◎ 機関誌第7号の投稿について

『関西英文学研究』第7号の締め切りは4月末日です。前回から優れた論文に奨励賞が与えられることになりましたので、奮ってご投稿ください。

◎ 第8回支部大会の研究発表の応募について

第8回支部大会は2013年12月22日(日)、龍谷大学文学部で開催されます。研究発表の応募締め切りは7月中旬の予定です。

◎ 海外研究者招聘後援事業について

既に来日している著名な外国人研究者を関西に招聘したいという企画がありましたら、ぜひ事務局までお知らせください。

新役員の詳細、機関誌の投稿規定、奨励賞、研究発表の応募要項、海外研究者招聘後援事業についての詳細は支部ホームページをご参照ください。

中国四国支部

◎ 中国四国支部第65回大会報告

平成24年10月27日(土)、28日(日)の両日、高知大学(高知市)において中国四国支部第65回大会が開催され、盛会のうちに全プログラムを無事に終了することができました。加藤勉氏、山下興作氏をはじめとする開催校の関係者の皆様にはたいへんお世話にな

りました。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

第1日目(27日)は、開会式、研究発表、特別講演、懇親会が行われました。研究発表は、英語学関係2編、イギリス文学関係7編、アメリカ文学関係2編、ハーン関係2編、英語教育関係3編の計16編が行われました。また、金澤俊吾氏(高知県立大学准教授)「転移修飾表現の意味解釈について——修飾のメカニズムと表現の多様性——」(司会:鳥取大学准教授 福元広二氏)、五百蔵高浩氏(高知県立大学教授)「言語・文化研究のリソースとしての*The New York Times*」(司会:三重大学教授 西村秀夫氏)の招待発表が行われました。特別講演は、東京大学教授 平石貴樹氏による「亀井俊介研究・序説」(司会:福山大学教授 田中久男氏)がありました。特別講演の後、はりまや橋の近くの「日本料理匠本店」にて山下興作氏の司会のもと、皿鉢料理に舌鼓を打ちながら、土佐流の懇親会を催すことができました。多数のご参加どうもありがとうございました。

第2日目(28日)は、日本英文学会前会長の丹治愛(司会・講師)の主導のもと、全国に先駆けて関東支部との学术交流シンポジウム「英語リーディング教授法の多様化のなかで一文学研究者に存在意味はあるのか」がありました。丹治愛(法政大学教授)「悪魔の弁護人として」、小野章(広島大学准教授)「文学教材によってこそ育まれるリーディング能力って何だろう?」、高橋和子(東京大学大学院博士課程後期・前西南学院大学助教授)「英語教材としての文学の復権を目指して——リーディング授業を中心に——」、菅原克也(東京大学教授)「訳読の擁護と顕揚」、今林修(広島大学准教授)「英文学で学ぶ英語リーディングと文体論」。そして、副支部長の福永信哲(岡山大学教授)の閉式の辞をもちまして全日程を終了しました。

本大会より開催校(高知大学)のご協力により保育サービスを試行的に開始し、利用者が1名いました。

懇親会の出欠伺いの往復はがきの住所に間違いがあり、再送しましたこととお詫び申し上げます。

◎ 理事会報告

支部第 65 回大会に先立ち、10 月 27 日の午前中に理事会にて次の議題が審議されましたのでご報告いたします。

1. 会計報告および会計監査報告

今林事務局長が平成 23 年度決算報告（支部事務局と編集委員会）を行い、会計監査（中尾佳行、水野和穂）により正確に会計処理されていることが報告され、承認された。編集委員会歳入の部の「会費収入」の項目名を、平成 24 年度決算報告からは「編集委員会に必要な諸経費」等に変更することになった。

2. 次期開催校

平成 25 年度の第 66 回大会は、10 月 19 日（土）・20 日（日）の両日に山口大学（開催校責任者：太田聡）で開催されることが承認された。

3. 日本英文学会全国大会運営と日本英文学会会長選出

関東支部から理事を 2 名出して理事会を 8 名（北海道支部、東北支部、関東支部、中部支部、関西支部、中国四国支部、九州支部の 7 支部各 1 名 + 関東支部追加 1 名）構成とし、会長は、関東理事 2 年、関東理事 2 年、地方理事 2 年、地方理事 2 年（2 期 2 年を同じ理事が会長職についてもいい。）というサイクルで回す方針を地村が報告し、承認された。また、地方支部から会長が出た場合、事務局長はその地方支部から選出されることを確認した。

4. 支部規約の改正

- ・第 1 条の「会長」を「支部長」へ変更。
- ・第 6 条の「会長」を「支部長」に、「副会長」を「副支部長」に変更。
- ・第 6 条第 5 項の「学会誌審査編集委員会規程」の「審査」を削除、「規程」を「規定」に変更。
- ・第 10 条第 2 項の最後に「、平成 24 年 10 月 27 日一部改正」を追加。

5. 学会誌編集委員会規定の改正

- ・「日本英文学会中国四国支部学会誌編集委員会規定」の「規定」を「規程」に変更。
- ・第 3 条の「委員長の選任は、」を「編

集委員会委員長（以下「委員長」という。）の選任は、」に変更。

- ・第 5 条の「編集委員会委員長（以下「委員長」という。）」を「委員長」に変更。
- ・第 6 条の「編集委員会を広島大学大学院教育学講座に置く。」を「委員会の事務業務は支部事務局が担当する。」に変更。
- ・第 7 条の「なお、審査を経て掲載されることとなった論文の執筆者名は編集委員会が記載し、本部へ送付する。」を削除。
- ・第 8 条に「委員会が書評を依頼することもある。」を追加。
- ・第 8 条が制定されたことにより、それ以降の条番号を一つずつ繰り下げる。
- ・第 9 条（旧第 8 条）の「投稿論文」を「投稿原稿」へ変更。
- ・第 9 条（旧第 8 条）の「会長」を「支部長」へ変更。
- ・第 15 条（旧第 14 条）の「編集委員会」の「編集」を削除。
- ・同規程の右肩に記載された規程の一部改正の日付を削除し、第 18 条（旧第 17 条）に記載することとなった。それに伴い、第 17 条は「本規程は、平成 15 年 10 月 25 日より施行する。（平成 16 年 10 月 23 日一部改正、平成 17 年 10 月 29 日一部改正、平成 19 年 10 月 27 日一部改正、平成 20 年 11 月 1 日一部改正、平成 22 年 10 月 30 日一部改正、平成 24 年 10 月 27 日一部改正）」とする。

6. 学会誌投稿規程の改正

- ・第 3 条の「原稿は、論文のみとし、書評は対象としない。」を「原稿は、論文、書評を対象とする。」に変更。
- ・第 9 条の「ウェブ」を「ホームページ」に変更。
- ・同規程の右肩に記載された規程の一部改正の日付を削除し、第 11 条に記載することとなった。それに伴い、第 11 条を、「本規程は、平成 15 年 10 月 25 日より施行する。（平成 16 年 10 月 23 日一部改正、平成 17 年 10 月 29 日一部改正、平成 19 年 10 月 27 日一部改正、平成 20 年 11 月 1 日一部改正、平成 22 年 10 月 30 日一

部改正、平成 23 年 10 月 29 日一部改正、平成 24 年 10 月 27 日一部改正)」とする。

7. 学会誌投稿要領の改正

- ・第 1 条の「宅急便」を「宅配便」へ変更。
- ・第 4 条の「日本英文学会会員か支部のみの会員か」を削除。
- ・第 5 条の「脚注」を「脚註」に変更。
- ・同要領の右肩に記載された要領の一部改正の日付を、第 11 条に転載することとなった。それに伴い、第 11 条を、「本要領は、平成 15 年 10 月 25 日より施行する。(平成 16 年 10 月 23 日一部改正、平成 17 年 10 月 29 日一部改正、平成 19 年 10 月 27 日一部改正、平成 20 年 11 月 1 日一部改正、平成 22 年 10 月 30 日一部改正、平成 23 年 10 月 29 日一部改正、平成 24 年 10 月 27 日一部改正)」とする。

8. 優秀論文賞規程の改正

- ・第二条に「(6) 当該年度の大会総会で、表彰を執り行う。」を追加。第三条に「(平成 24 年 10 月 27 日一部改正)」を追加。
- ・本規程は、『支部統合号第 5 号』から記載される。

9. その他

経費節減のため、懇親会の出欠はがきを廃止し、支部統合号に返信用葉書を挿入してもらうことを日本英文学会に提案することになった。

◎ 支部理事選挙の結果と新支部理事

支部理事選挙の結果、今林修、加藤好文、高橋渡、地村彰之、中尾佳行、中川憲、新田玲子、福永信哲、水野和穂、吉中孝志（敬称略、五十音順）の 10 名が新理事に選出された。

理事会終了後、すぐに上記 10 名の新理事による新理事会を開き、「日本英文学会中国四国支部理事選出の手順」第 8 項に基づき、選挙によって選出された新支部理事により、委員会役職、地域性、性別、専攻分野などを配慮し、太田聡、加藤勉、田村道美、福元広二、前田一平、脇本恭子、渡部知美（敬称略、五十音順）を新理事に選出した。

◎ 新支部理事会の報告と新支部体制

1. 新しく選出された理事による新理事会での合議を経て、新田玲子（広島大学）が次期支部長に選出された。
2. 支部規約に則り、次の役員が選出された。
 - ・副支部長：高橋渡（県立広島大学）
 - ・事務局長：川島健（広島大学）
 - ・事務局長補佐：本岡亜沙子（広島経済大学）
 - ・会計監査：水野和穂（広島修道大学）、小野章（広島大学）
 - ・選挙管理委員長：地村彰之（広島大学）
 - ・選挙管理委員：島美由紀（近畿大学）、栗原武士（広島経済大学）
3. 各県の推薦制代表者が選出された。
 - ・鳥取：福元広二（鳥取大学）
 - ・島根：渡部知美（島根大学）
 - ・岡山：脇本恭子（岡山大学）
 - ・広島：中川憲（安田女子大学）
 - ・山口：太田聡（山口大学）
 - ・香川：田村道美（香川大学）
 - ・徳島：前田一平（鳴門教育大学）
 - ・高知：加藤勉（高知大学）
 - ・愛媛：加藤好文（愛媛大学）

◎ 支部大会開催のお知らせと研究発表の募集

平成 25 年度の第 66 回大会は、10 月 19 日（土）・20 日（日）の両日、山口大学（開催校責任者：太田聡）で開催いたします。研究発表の募集の締め切りが、「支部大会資料統合版」作成の都合上、5 月 15 日（必着）になりましたのでご注意ください。たくさんのご応募お待ちしております。

◎ 学会誌の原稿の募集

支部学会誌『中国四国英文学研究』第 10 号（英文学研究支部統合号第 6 号）の原稿を募集いたします。締め切りは、5 月 15 日（必着）です。投稿規程は、支部ホームページ（<http://home.hiroshima-u.ac.jp/phoenix/chusi-eng/studies.html>）をご覧ください。

以上（文責：地村彰之）

九州支部

◎九州支部第65回大会報告

日本英文学会九州支部第65回大会が2012年10月27日(土)、28日(日)の両日に九州産業大学にて開催されました。大会の運営に多大のご支援をいただいた、河野賢司先生ほか九州産業大学の先生方、学生の皆様に心よりお礼を申し上げます。

◎支部編集委員会、評議員会・理事会報告

2012年度第2回支部編集委員会が2012年10月27日(土)に開催されました。同日、支部評議員会・理事会の合同会議が開かれました。主な報告事項、議題は下記のとおりです。議事録は支部ホームページに掲載されています。

《編集委員会》

1. 『九州英文学研究』第29号(支部統合号)の刊行について

15篇の投稿があり、8篇が採用されました。

2. 支部大会統合版プロシーディングズについて
3. 九州支部「奨励賞」の決定について

都地沙央里氏の論文“A Bibliographical Study of R. Pynson’s *Reynard the Fox*”(『九州英文学研究』第29号掲載)が2012年度九州支部奨励賞に選ばれました。

4. 九州支部学会賞(優秀論文賞)の対象(資格要件)について
5. 編集委員長の交代について
大橋浩氏が次期編集委員長に選出されました。
6. 編集委員の交代について

退任する隈元貞広氏の後任として、山田英二氏が選出されました。また次期英文学分野の副委員長に鶴飼信光氏が選出されました。新編集委員会は、下記の構成になります(敬称略)。

(英文学) 鶴飼信光(副委員長)、太田一昭、木原謙一、小林潤司、宮原一成、村里好俊

(米文学) 大島由起子、小谷耕二(副委員長)、高橋勤、早瀬博範、山里勝己

(英語学) 大橋浩(委員長)、登田龍彦、西岡宣明、向井毅、山田英二

《評議員会・理事会》

1. 活動報告
2. 会計報告
3. 統合版大会資料、プロシーディングズの刊行経費負担について
4. 支部理事選挙について
5. 編集委員会報告
6. 支部事務局の交替・次期支部長の選出について
支部事務局は2013年4月1日に九州大学言語文化研究院から熊本県立大学に移ります。同大学の村里好俊氏が次期支部長に選出されました。
7. 支部選出本部理事・評議員の選出について

◎第66回(2013年度)支部大会会場について

第66回支部大会は、鹿児島国際大学で開催の予定です。日程は未定です。決定次第、支部ホームページにてお知らせいたします。

◎支部理事選挙が実施され、次の15名が次期理事に選出されました(敬称略)

任期は2013年4月から2015年3月まで。

鶴飼信光、大島由起子、太田一昭、大橋浩、木下善貞、小谷耕二、竹内勝徳、登田龍彦、西岡宣明、馬場弘利、早瀬博範、向井毅、村里好俊、山内正一、山田英二

◎支部選出本部理事と支部選出本部評議員について

次期支部長の村里好俊氏が支部選出次期本部理事(任期2年)に、鶴飼信光氏が支部選出次期本部評議員(任期4年)に選出されました。

◎支部ホームページ・アドレス

<http://kyushu-elsj.sakura.ne.jp/>

以上(文責:太田一昭)